

① 「Digital Twin」 とは

ものづくりのデジタル化を牽引する中核技術として使われてきた言葉で、「デジタルデータを基に物理的な製品をサイバー空間上で仮想的に複製し、将来発生する事象をデジタルの仮想世界で予測することが可能な先進的なシミュレーション技術」を意味する。

(参考文献：国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター

<https://www.jst.go.jp/crds/pdf/2017/SP/CRDS-FY2017-SP-01.pdf>)

② 現場まるごと iCon 化 とは

広く生産や製造過程等において利用されている技術の応用や新たな計測技術、IoT や AI 技術などの活用を図り、BIM/CIM 等のモデリングのみならず、マネジメントの観点から、情報技術による現場の作業内容及びプロセスを改善する取組のこと。

その中には、会議や協議、説明会など様々な場面や事務手続きにおいて、タブレット端末等の情報技術の活用により可視化、即時性の確保やペーパーレス化の促進など仕事の仕方を効率的、効果的に改善することも含まれる。

また、平常時のみならず、災害の状況把握や災害復旧等において役立つ情報技術を導入し、安全かつ効果的、効率的な業務遂行を目指すことも含まれる。